

訪日客消費2.9%減

7～9月 4年9カ月ぶり

客数は堅調

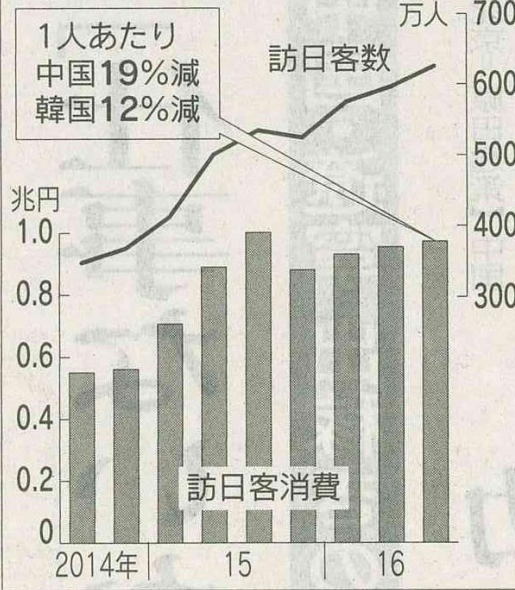
観光庁は19日、7～9月の訪日外国人旅行消費額が9717億円と前年同期比2.9%減ったと発表した。マイナスは2

00人だった。訪日客数は拡大が続くが、1人あたり消費額が17.1%減り、全体を押し下げた。訪日客消費を費目別にみると、宿泊料金や飲食

報告で、訪日客消費が海外ブランド品など高額品から化粧品や菓子などの日用品に移り、体験型消費を好む外国人が増えていると分析した。「10

1%増の1797万7700人。通年で過去最高になるのは確実で、観光庁は11月初旬までに2000万人に達するともみ

訪日客は増えているが消費は伸びず(四半期)



費は前年比でプラスだったが、買い物代が17%減と落ち込んだ。消費額の8割を占める中国、台湾、韓国、香港、米国のうち、現地通貨ベースで1人あたり消費が落ち込んだのは香港だけだった。これらの地域では1年前に比べて1～2割ほど

一方、訪日客数の拡大は続いている。1～9月の累計は前年同期比24・